

## 地域情報

夏といえばスイカ！ですが...  
～夏場の太陽の熱を有効利用中～

(鹿本)  
2023.8月

熊本県はスイカの生産量が日本一であり、鹿本地域は県内でも最大のスイカ産地です。また、鹿本地域におけるスイカの出荷は4月下旬から5月下旬がピークです。それでは夏の間、スイカ畑はどうなっているのでしょうか？

実は夏場はおいしいスイカを作るための大切な準備期間となっています。スイカが栽培されるビニールハウスでは、夏の太陽の熱を利用して病害虫を減らす取り組みが行われています。閉め切ったビニールハウス内は気温が60度以上になり、ハウス内の害虫が死滅します。また、土に十分な水分を含ませてから、表面をビニールで覆っておくことで、地下20cmの土でも40度以上になり、土中の病害虫も減らすことができます。

このようにしっかりと準備されたビニールハウスで栽培された甘くて大きなスイカが秋から春にかけて日本中へ出荷されます。皆さんもぜひ鹿本のスイカをご賞味ください。



対策ステッカー貼付の様子



太陽熱消毒の様子